FUJIFILM
Value from Innovation

NEVER STOP

2022年3月期 第3四半期
決算説明会

2022年2月9日

富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

本日のアジェンダ –2022年3月期 第3四半期 決算説明会–

FUJIFILM

2022年3月期 第3四半期

1 | **決算ハイライト及びトピックス**

富士フイルムホールディングス株式会社　代表取締役社長・CEO　**後藤禎一**

2 | **連結業績及び事業概況**

富士フイルムホールディングス株式会社　取締役・CFO　**樋口昌之**

3 | **通期連結業績予想**

富士フイルムホールディングス株式会社　取締役・CFO　**樋口昌之**

FUJIFILM
Value from Innovation

NEVER STOP

2022年3月期 第3四半期

1. 決算ハイライト及びトピックス

2022年3月期 第3四半期 決算ハイライト

FUJIFILM

2022年3月期　第3四半期連結業績(9ヶ月)

(単位：億円)

	FY21 3Q累計	対FY20	対FY19
売上高	18,609	+18.3%	+7.7%
営業利益	過去最高 1,865	+54.8%	+23.0%
当社株主帰属四半期純利益	過去最高 1,571	+24.2%	+30.2%

- 新型コロナ影響からの順調な回復に加えて、ヘルスケア、電子材料及びイメージングでの販売好調により**大幅な増収・増益を達成**。
- 全セグメント増収により、**過去最高益となる「営業利益」及び「当社株主帰属四半期純利益」を達成**。

2022年3月期　通期連結業績予想

(単位：億円)

	前回予想 (2021/11/4公表値)	今回予想 (2022/2/9公表値)	対前回予想	セグメント内訳
売上高	25,100	25,100	-	ﾋﾞｼﾞﾈｽｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ▲100、ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ+100
営業利益	2,200	過去最高 2,250	+50	ﾋﾞｼﾞﾈｽｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ▲30、ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ+80
当社株主帰属当期純利益	1,750	過去最高 1,850	+100	

- 第3四半期業績を反映し、**「営業利益」及び「当社株主帰属当期純利益」を上方修正**。
- **過去最高益となる「営業利益」及び「当社株主帰属当期純利益」**を目指す。

2022年3月期 第3四半期 決算トピックス

FUJIFILM

バイオCDMO事業

- **米国バイオベンチャーAtara Biotherapeutics社の細胞治療薬製造拠点を買収**
  最先端治療分野である細胞治療薬の開発・製造受託ビジネスに本格参入

  今回の買収により実現する主なポイント
  （1）細胞治療分野における一貫した受託サービスを提供
  （2）幅広い細胞ニーズに対応した細胞治療薬の受託が可能
  （3）最先端治療薬の受託体制を更に強化

ライフサイエンス事業

- **欧州で培地の新工場を稼働**
  日米欧3拠点のグローバル生産体制を確立し、顧客の創薬・医薬品製造をより強力にサポート
- **培地のカスタマイズサービス拠点「Innovation & Collaboration Center」を中国に新設**
  現地ニーズに合わせてカスタマイズした培地で顧客の創薬・医薬品製造を強力にサポートし、中国での培地ビジネスを拡大

ライフサイエンス領域のコーポレートベンチャーキャピタル「LS-CVC」始動
最先端技術などを有する世界のバイオベンチャーを対象に出資枠を新たに設定
出資先との戦略的提携を通じて、ライフサイエンス事業の更なる強化や新規事業の創出を図る

自社での事業開発に戦略的なLS-CVCを加えて、事業の成長スピードを加速させる

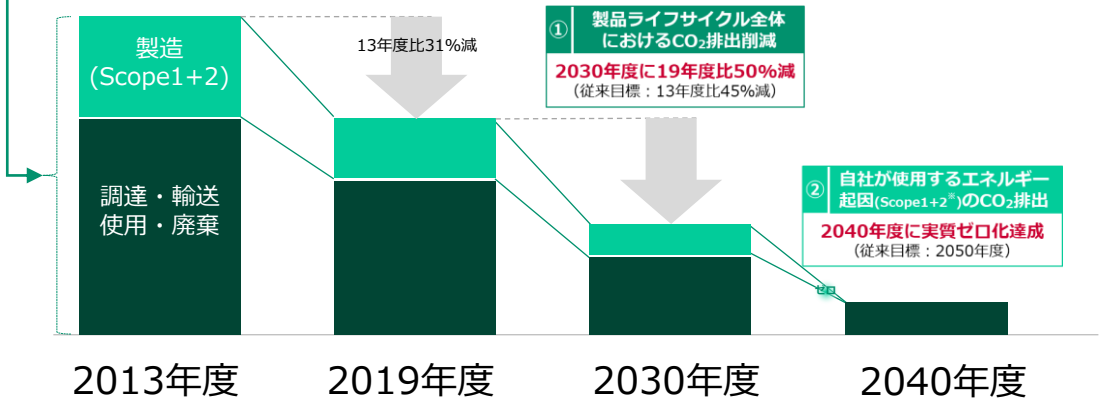
2022年3月期 第3四半期 決算トピックス

FUJIFILM

新たな環境戦略　”Green Value Climate Strategy” の下、脱炭素化を加速する

1．脱炭素目標の引き上げ

① 製品ライフサイクル全体におけるCO_2排出削減	② 自社が使用するエネルギー起因(Scope1+2※)のCO_2排出
2030年度に19年度比50%減 （従来目標：13年度比45%減）	**2040年度に実質ゼロ化達成** （従来目標：2050年度）



2. 新たな環境戦略 ”Green Value Climate Strategy”

(1)環境負荷の少ない生産活動 ”Green Value Manufacturing”の推進

(2)優れた環境性能を持つ製品・サービス ”Green Value Products” の創出・普及

(3)新環境戦略に沿った事業別目標の設定

(4)インターナルカーボンプライシング(社内炭素価格)の導入

※ Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)，Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

FUJIFILM
Value from Innovation

NEVER STOP

2022年3月期 第3四半期

2. 連結業績及び事業概況

2022年3月期 第3四半期 業績(2021年4月~12月)

FUJIFILM

(単位：億円)

	9ヶ月				
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	15,734 100.0%	**18,609** **100.0%**	2,875 +18.3%	661	2,214 +14.1%
営業利益	1,205 7.7%	過去最高 **1,865** **10.0%**	660 +54.8%	172	488 +40.5%
税金等調整前四半期純利益	1,748 11.1%	過去最高 **2,072** **11.1%**	324 +18.5%	233	91 +5.2%
当社株主帰属四半期純利益	1,265 8.0%	過去最高 **1,571** **8.4%**	306 +24.2%	162	144 +11.4%
1株当たり当社株主帰属四半期純利益	316.42円	**392.40円**	75.98円		
為替　：米ドル	106円	**111円**	5円安		
：ユーロ	123円	**131円**	8円安		

<その他増減要因（対前年度)>
営業利益における
原材料価格影響：▲138億円

セグメント別 連結売上高｜営業利益

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	9ヶ月 2021年3月期	9ヶ月 2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	3,881	**5,767**	1,886	(+48.6%)	1,682	(+43.3%)
マテリアルズ	4,173	**4,649**	476	(+11.4%)	311	(+7.5%)
ビジネスイノベーション	5,494	**5,591**	97	(+1.8%)	-57	(-1.0%)
イメージング	2,186	**2,602**	416	(+19.0%)	278	(+12.7%)
合計	15,734	**18,609**	2,875	(+18.3%)	2,214	(+14.1%)

*セグメント間取引消去後

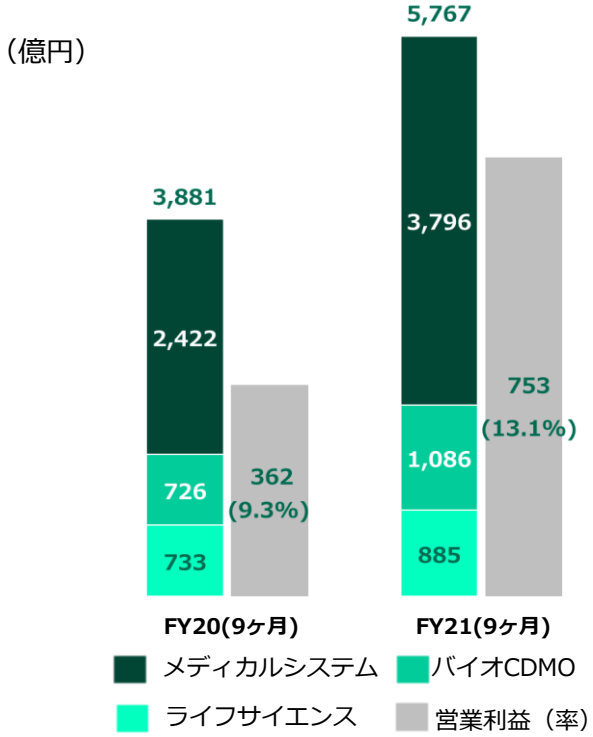
（単位：億円）

営業利益	9ヶ月 2021年3月期	9ヶ月 2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	362	**753**	391	(2.1倍)	338	(+93.3%)
マテリアルズ	459	**579**	120	(+25.9%)	79	(+17.0%)
ビジネスイノベーション	467	**422**	-45	(-9.6%)	-69	(-14.7%)
イメージング	141	**347**	206	(2.5倍)	149	(2.1倍)
全社/連結調整	-224	**-236**	-12	-	-9	-
合計	1,205	**1,865**	660	(+54.8%)	488	(+40.5%)

セグメント別概況：ヘルスケア

FUJIFILM

全サブセグメントでのオーガニックグロースに加えて、メディカルシステム事業における富士フイルムヘルスケアの連結子会社化も寄与し、売上高対前年+48.6%、営業利益対前年2.1倍となる大幅な増収・増益を達成。



メディカルシステム：売上高3,796億円（対前年+56.7%）

- 富士フイルムヘルスケアの連結子会社化に加えて、肺炎診断に有用な超軽量移動型デジタルX線撮影装置や超音波画像診断装置の需要継続、内視鏡の好調な販売などにより、売上が大幅に増加。
- 富士フイルムと富士フイルムヘルスケアの国内機器製造子会社、及び、米国販売子会社をそれぞれ統合させるなど、PMIが順調。

バイオCDMO：売上高1,086億円（対前年+49.7%）

- バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託が好調に推移したことに加えて、米国拠点での新型コロナワクチン候補の原薬製造が寄与するなど、売上が大幅に増加。

ライフサイエンス※：売上高885億円（対前年+20.7%）

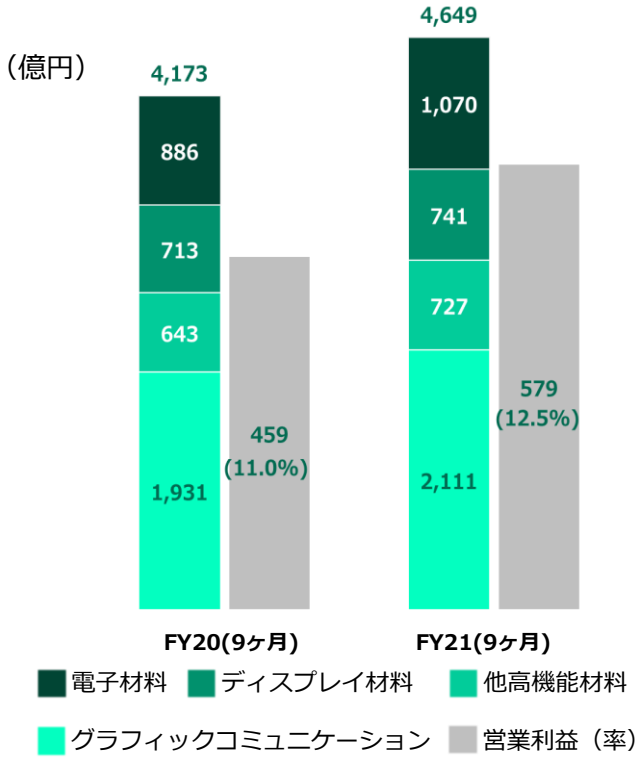
- ライフサイエンス事業は、バイオ医薬品製造用途の培地販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- コンシューマーヘルスケア事業は、「メタバリアEX」などのサプリメントの販売が好調だったことに加え、化粧品も新製品の販売が堅調に推移し、売上が増加。

※ライフサイエンス：ライフサイエンス事業（細胞・培地・試薬）、医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業（化粧品・サプリメント）から構成される開示セグメント

セグメント別概況：マテリアルズ

FUJIFILM

新型コロナ影響からの着実な回復に加えて、旺盛な半導体需要を背景とした電子材料事業の成長が牽引し、売上高対前年+11.4%、営業利益対前年+25.9%となる大幅な増収・増益を達成。



電子材料：売上高1,070億円（対前年+20.8%）

- 半導体需要の増加に伴い、フォトレジストやCMPスラリー、ポストCMPクリーナー、ポリイミドなど幅広い製品群で販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。

ディスプレイ材料：売上高741億円（対前年+4.0%）

- 新型コロナ流行下でのモニター、タブレット、及びTV需要の増加や、スマートフォンの堅調な需要を受けて、各種の高機能フィルム製品の販売が好調に推移し、売上が増加。

他高機能材料※：売上高727億円（対前年+13.2%）

- 記録メディア事業では、新型コロナ流行下で落ち込んでいたデータアーカイブ目的のテープ需要が回復傾向にあり、売上が増加。

ｸﾞﾗﾌｨｯｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ：売上高2,111億円（対前年+9.3%）

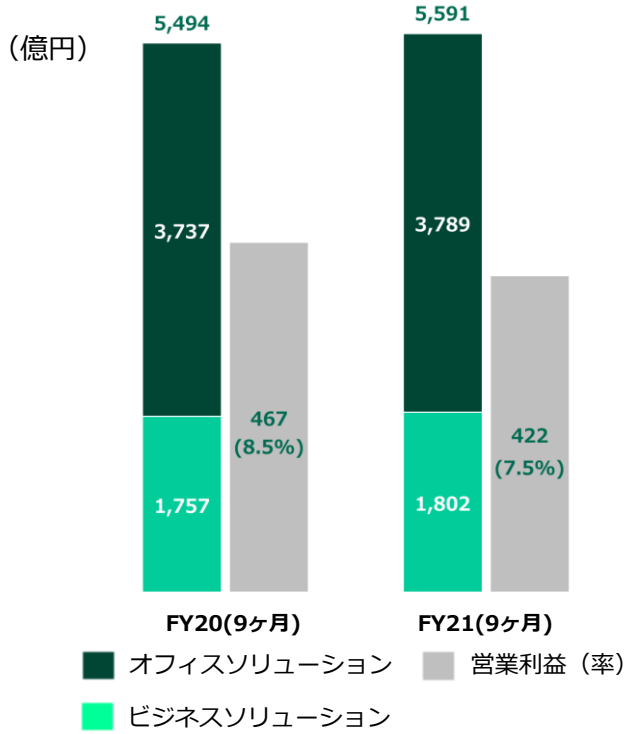
- グラフィックコミュニケーション事業では、刷版材料の新型コロナ影響からの回復に加え、デジタル印刷分野では、2021年11月に「Jet Press 750S High Speed Model」を発売するなど、販売が好調に推移し、売上が増加。
- インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が欧州・中国での需要増により好調に推移し、売上が増加。

※他高機能材料：産業機材事業、ファインケミカル事業、記録メディア事業から構成される開示セグメント

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

FUJIFILM

- **オフィスソリューション、ビジネスソリューションともに増収となり、売上高対前年+1.8%。**
- **半導体等の部品コスト増などにより、営業利益対前年▲9.6%。**
- **「FUJIFILM」ブランドのオフィス向け製品を新市場で販売開始。**



オフィスソリューション：売上高3,789億円（対前年+1.4%）

- アジアパシフィック地域でのロックダウンや半導体等の部品供給の逼迫を背景とした、機器の供給・設置遅延による影響を受けたが、ノンハードの売上回復や為替影響など、売上は対前年増。
- 富士フイルムの海外拠点や有望な代理店を活用した販路の拡大に向けて、第3四半期より新たな市場にてオフィス向け製品の販売を開始。今後も欧州や中東、中南米などの新市場を開拓するとともに、新規のOEM供給も含め、グローバル展開を拡大する。

ビジネスソリューション：売上高1,802億円（対前年+2.6%）

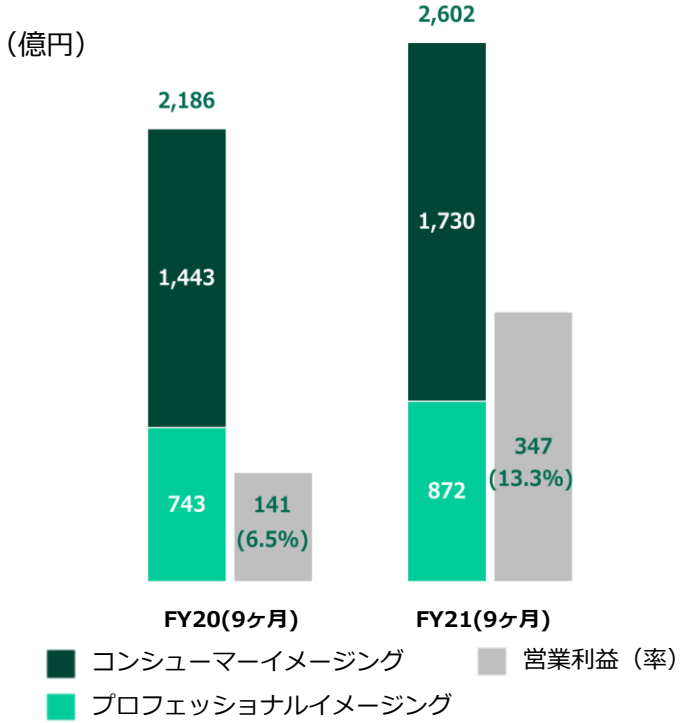
- 国内での自治体向けビジネスの獲得や、海外を中心としたBPO※の販売増などにより、売上が増加。
- 2022年1月1日に、HOYAデジタルソリューションズ株式会社の買収を完了し、「富士フイルムデジタルソリューションズ株式会社」として新たに事業活動を開始。新会社が提供する基幹システムの販売及び導入支援を含め、今後もお客様のDXに資するソリューション・サービスメニューを順次提供し、ビジネスソリューション事業の更なる成長を加速させる。

※ビジネスプロセスアウトソーシング

セグメント別概況：イメージング

FUJIFILM

カラー印画紙や放送・シネマ用レンズ等の新型コロナ影響からの着実な回復に加えて、インスタントフォトシステムやデジタルカメラでの新製品投入により、販売が好調に推移し、売上高対前年+19.0%、営業利益対前年2.5倍となる大幅な増収・増益を達成。



ｺﾝｼｭｰﾏｰｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ：売上高1,730億円（対前年+19.8%）

- 新型コロナ影響からの回復に加えて、インスタントフォトシステムや、米国リテーラー向けのドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- 2021年4月にミニフォーマットフィルムに対応した新エントリーモデル「instax mini 40」、同年10月にワイドフォーマットサイズのスマートフォン用プリンター「instax Link WIDE」、更に同年12月に最上位機種の「instax mini Evo」と新製品を発売。いずれも市場から高く評価され、販売が好調に推移。

ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ：売上高872億円（対前年+17.4%）

- 1億画素で最高画質を実現したラージフォーマットミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100S」が市場から高い評価を受け、販売好調が継続。加えて2021年9月に5千万画素の兄弟機「FUJIFILM GFX50S II」を発売し、「GFX」ユーザー層を拡大。
- 2021年11月には高画質と小型軽量を両立させた「Xシリーズ」最新モデル、ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T30 II」を発売。
- 新型コロナ影響により需要が減少していた放送・シネマ用レンズの販売が回復基調にあり、売上が増加。遠望監視やマシンビジョンなど監視計測領域の販売も好調に推移。

連結貸借対照表

FUJIFILM

(単位：億円)

	20年 3月期末	21年 3月期末	**22年3月期 12月末**	対21年 3月期末
現金及び現金同等物	3,961	3,948	**4,250**	302
受取債権	5,584	6,057	**5,795**	-262
棚卸資産	3,809	4,177	**4,869**	692
その他流動資産	1,538	892	**1,334**	442
流動資産計	**14,892**	**15,074**	**16,248**	**1,174**
有形固定資産	6,005	6,353	**6,744**	391
営業権	6,872	8,042	**7,884**	-158
その他固定資産	5,448	6,023	**6,384**	361
固定資産計	**18,325**	**20,418**	**21,012**	**594**
資産合計	**33,217**	**35,492**	**37,260**	**1,768**

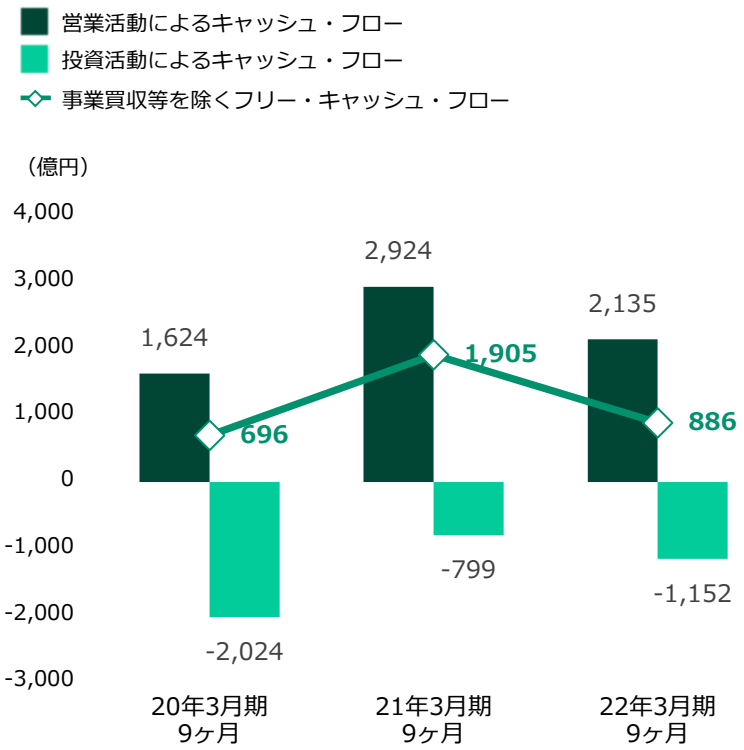
	20年 3月期末	21年 3月期末	**22年3月期 12月末**	対21年 3月期末
長短社債及び借入金	6,242	5,030	**4,727**	-303
支払債務	2,223	2,399	**2,583**	184
その他流動・固定負債	4,814	5,841	**5,933**	92
負債計	**13,279**	**13,270**	**13,243**	**-27**
株主資本計	19,533	22,046	**23,824**	1,778
非支配持分	405	176	**193**	17
純資産計	**19,938**	**22,222**	**24,017**	**1,795**
負債・純資産合計	**33,217**	**35,492**	**37,260**	**1,768**

(単位：円)

期末日 為替レート	20年 3月期末	21年 3月期末	**22年3月期 12月末**	対21年 3月期末
米ドル	109	111	**115**	4円安
ユーロ	120	130	**131**	1円安

連結キャッシュ・フロー

FUJIFILM



(単位：億円)

	20年3月期 9ヶ月	21年3月期 9ヶ月	**22年3月期 9ヶ月**
四半期純利益	**1,335**	**1,278**	**1,604**
減価償却費	918	909	**977**
受取債権の増(-)減(+)	435	372	**354**
棚卸資産の増(-)減(+)	-382	-299	**-661**
営業債務の増(+)減(-)	65	-104	**79**
その他	-747	768	**-218**
営業活動によるＣＦ	**1,624**	**2,924**	**2,135**
設備投資	-648	-729	**-909**
ソフトウェアの購入	-152	-154	**-270**
投資有価証券の売却・購入等	-37	220	**97**
事業買収	-1,059	0	**0**
その他	-128	-136	**-70**
投資活動によるＣＦ	**-2,024**	**-799**	**-1,152**
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	**-400**	**2,125**	**983**
事業買収等を除くFCF※	**696**	**1,905**	**886**

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

2022年3月期 第3四半期

3. 通期連結業績予想

2022年3月期 通期連結業績予想 (2022年2月9日時点)

FUJIFILM

（単位：億円）

	2021年3月期	2022年3月期 前回予想 (2021/11/4公表値)	**2022年3月期 今回予想 (2022/2/9公表値)**	対前年度	対前回予想
売上高	21,925 100%	25,100 100%	**25,100** **100%**	3,175 +14.5%	- -
営業利益	1,655 7.5%	2,200 8.8%	過去最高 **2,250** **9.0%**	595 +36.0%	50 +2.3%
税金等調整前当期純利益	2,359 10.8%	2,400 9.6%	過去最高 **2,450** **9.8%**	91 +3.9%	50 +2.1%
当社株主帰属当期純利益	1,812 8.3%	1,750 7.0%	過去最高 **1,850** **7.4%**	38 +2.1%	100 +5.7%
1株当たり 当社株主帰属当期純利益	453.28円	436.65円	**461.60円**	+8.32円	+24.95円
ROE	8.7%	7.7%	**8.1%**	-0.6%	+0.4%
ROIC	4.3%	5.3%	**5.6%**	+1.3%	+0.3%
CCC	123日	120日	**120日**	-3日	-
為替　：米ドル ：ユーロ	106円 124円	109円 132円	**112円** **130円**	6円安 6円安	3円安 2円高
銀価格（/kg）	74,000円	93,000円	**89,000円**	+15,000円	-4,000円

セグメント別業績予想 (2022年2月9日時点)

FUJIFILM

(単位：億円)

売上高	2022年3月期 前回予想 (2021/11/4公表値)	**2022年3月期 今回予想 (2022/2/9公表値)**	対前回予想
ヘルスケア	7,900	**7,900**	0
マテリアルズ	6,200	**6,200**	0
ビジネスイノベーション	7,800	**7,700**	-100
イメージング	3,200	**3,300**	100
合計	25,100	**25,100**	0

(単位：億円)

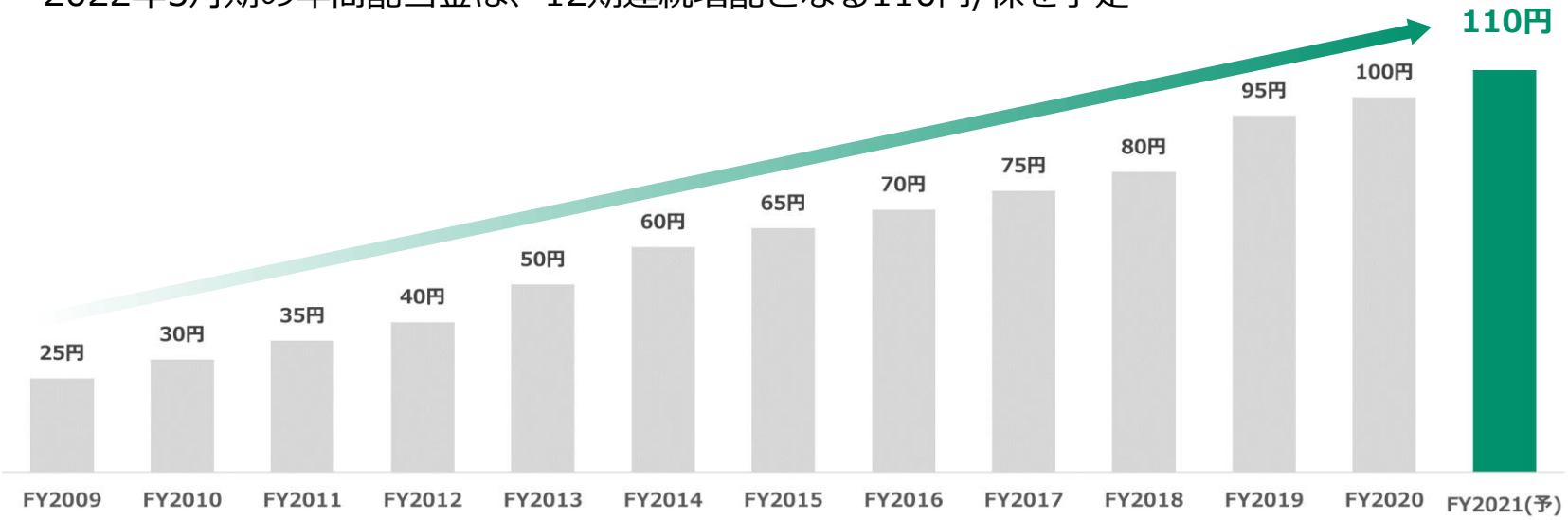
営業利益	2022年3月期 前回予想 (2021/11/4公表値)	**2022年3月期 今回予想 (2022/2/9公表値)**	対前回予想
ヘルスケア	1,000	**1,000**	0
マテリアルズ	630	**630**	0
ビジネスイノベーション	700	**670**	-30
イメージング	250	**330**	80
全社/連結調整	-380	**-380**	0
合計	2,200	**2,250**	50

株主還元

FUJIFILM

配当金

► 2022年3月期の年間配当金は、12期連続増配となる110円/株を予定



自己株式取得

► キャッシュフローを勘案し、株価の推移に応じて機動的に実施

FUJIFILM
Value from Innovation

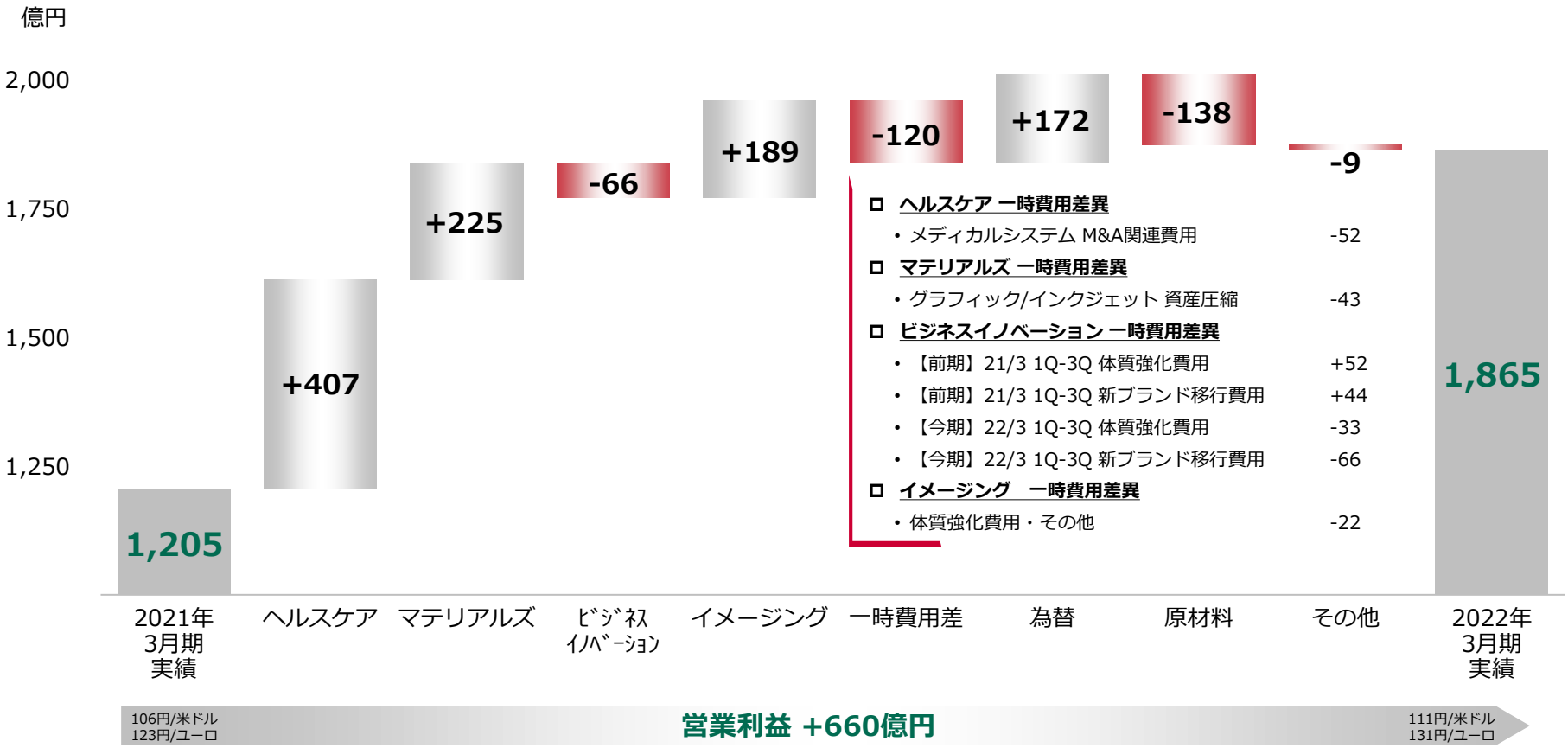
NEVER STOP

2022年3月期 第3四半期

参考資料

営業利益増減分析（9ヵ月累計実績 対前年）

FUJIFILM



106円/米ドル
123円/ユーロ

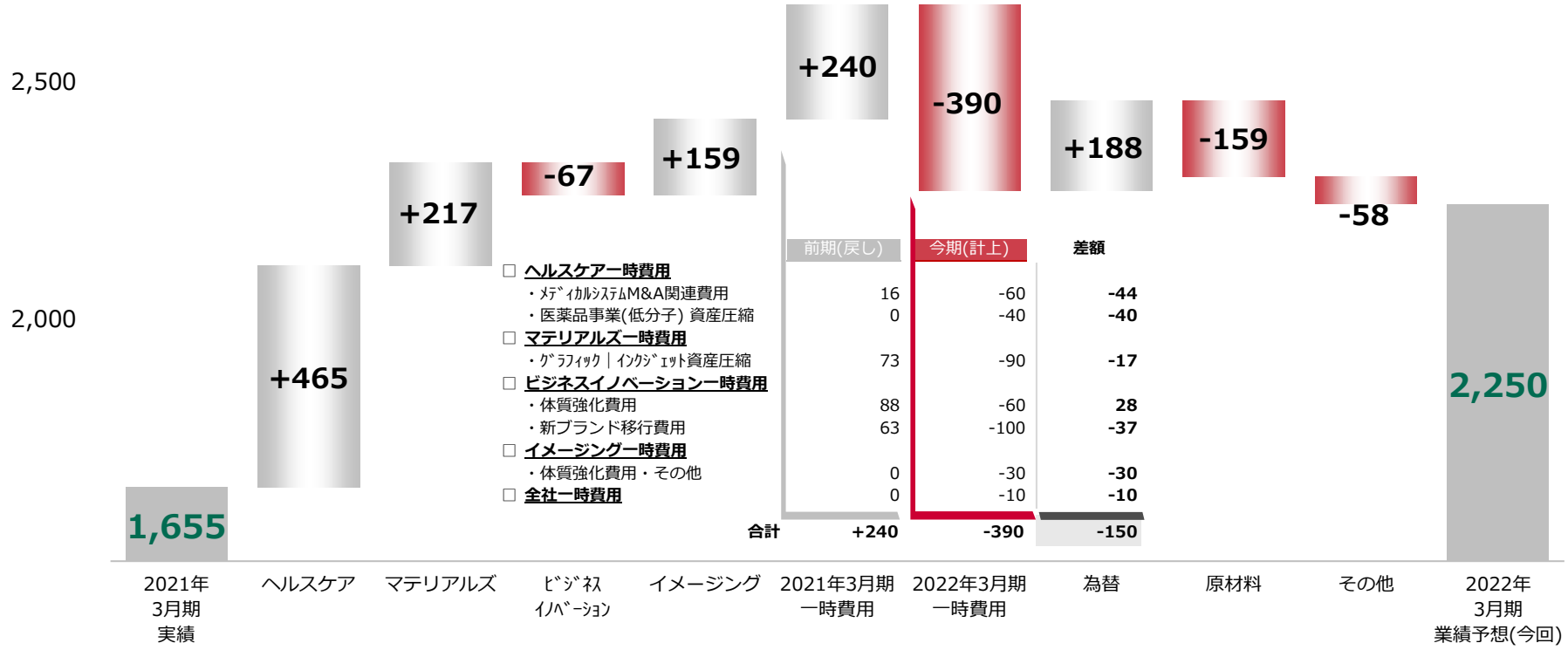
営業利益 +660億円

111円/米ドル
131円/ユーロ

営業利益増減分析（通期業績予想 対前年）

FUJIFILM

億円



	前期(戻し)	今期(計上)	差額
□ **ヘルスケア一時費用**			
・ﾒﾃﾞｨｶﾙｼｽﾃﾑM&A関連費用	16	-60	**-44**
・医薬品事業(低分子) 資産圧縮	0	-40	**-40**
□ **マテリアルズ一時費用**			
・ｸﾞﾗﾌｨｯｸ｜ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ資産圧縮	73	-90	**-17**
□ **ビジネスイノベーション一時費用**			
・体質強化費用	88	-60	**28**
・新ブランド移行費用	63	-100	**-37**
□ **イメージング一時費用**			
・体質強化費用・その他	0	-30	**-30**
□ **全社一時費用**	0	-10	**-10**
合計	**+240**	**-390**	**-150**

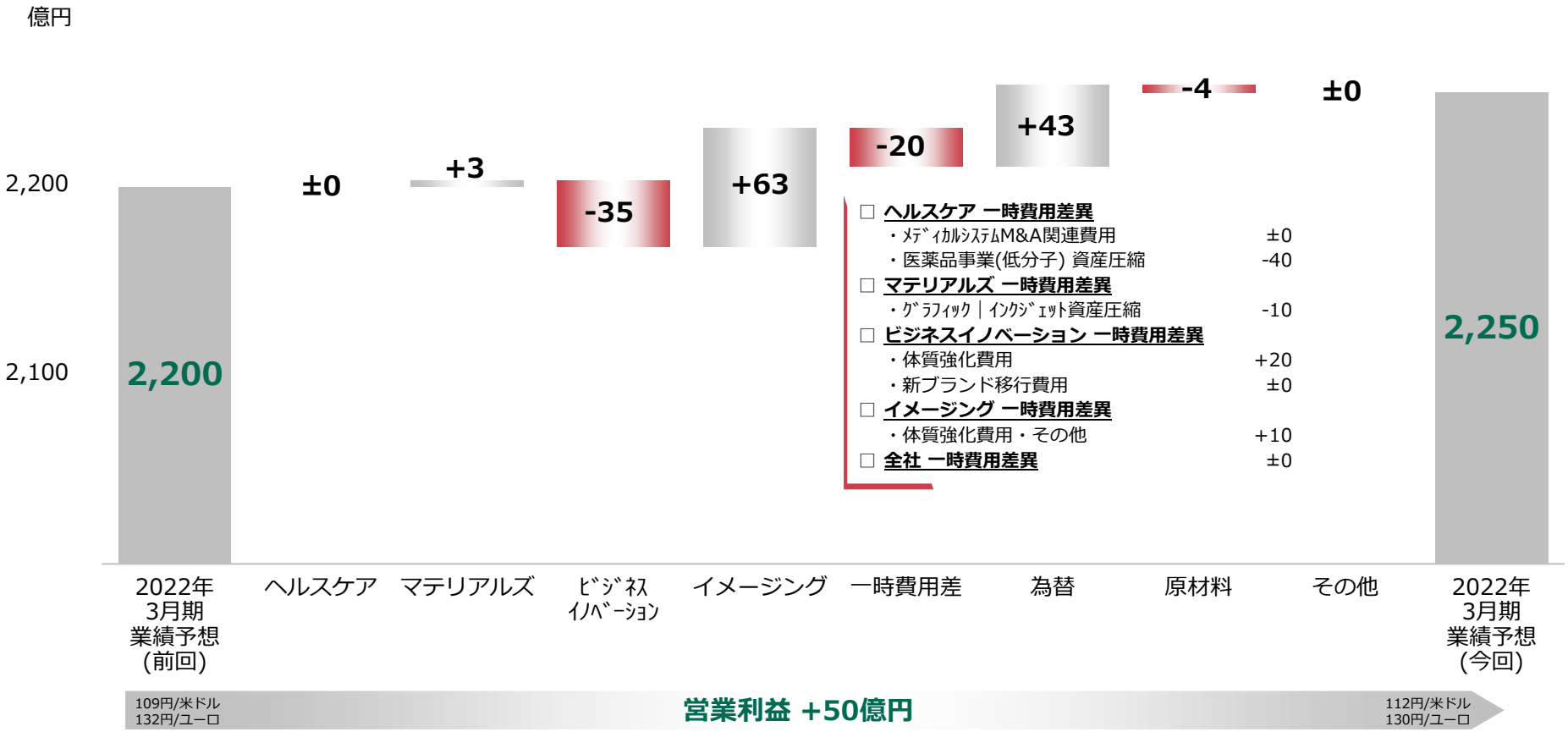
106円/米ドル
124円/ユーロ

営業利益 +595億円

112円/米ドル
130円/ユーロ

営業利益増減分析（通期業績予想 対修正前）

FUJIFILM



3Q｜9ヶ月 業績

FUJIFILM

(単位：億円)

	3Q			9ヶ月				
	2021年3月期	**2022年3月期**	対前年度	2021年3月期	**2022年3月期**	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	5,760 100.0%	**6,558** **100.0%**	798 +13.8%	15,734 100.0%	**18,609** **100.0%**	2,875 +18.3%	661	2,214 +14.1%
営業利益	640 11.1%	**786** **12.0%**	146 +22.8%	1,205 7.7%	**1,865** **10.0%**	660 +54.8%	172	488 +40.5%
税金等調整前四半期純利益	752 13.1%	**773** **11.8%**	21 +2.8%	1,748 11.1%	**2,072** **11.1%**	324 +18.5%	233	91 +5.2%
当社株主帰属四半期純利益	589 10.2%	**608** **9.3%**	19 +3.3%	1,265 8.0%	**1,571** **8.4%**	306 +24.2%	162	144 +11.4%
為替　：米ドル 　　：ユーロ	105円 125円	**114円** **130円**	9円安 5円安	106円 123円	**111円** **131円**	5円安 8円安		

＜その他増減要因（3Q/9ヶ月累計　対前年度)＞
営業利益における原材料価格影響：▲49億円 / ▲138億円

3Q｜9ヶ月 業績

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	3Q				9ヶ月			
	2021年 3月期	**2022年 3月期**	対前年度		2021年 3月期	**2022年 3月期**	対前年度	
ヘルスケア	1,400	**2,011**	611	(+43.6%)	3,881	**5,767**	1,886	(+48.6%)
マテリアルズ	1,461	**1,585**	124	(+8.5%)	4,173	**4,649**	476	(+11.4%)
ビジネスイノベーション	1,852	**1,843**	-9	(-0.4%)	5,494	**5,591**	97	(+1.8%)
イメージング	1,047	**1,119**	72	(+6.8%)	2,186	**2,602**	416	(+19.0%)
合計	5,760	**6,558**	798	(+13.8%)	15,734	**18,609**	2,875	(+18.3%)

*セグメント間取引消去後

（単位：億円）

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2021年 3月期	**2022年 3月期**	対前年度		2021年 3月期	**2022年 3月期**	対前年度	
ヘルスケア	176 [12.6%]	**283 [14.1%]**	107	(+60.9%)	362 [9.3%]	**753 [13.1%]**	391	(2.1倍)
マテリアルズ	192 [13.2%]	**187 [11.8%]**	-5	(-2.9%)	459 [11.0%]	**579 [12.5%]**	120	(+25.9%)
ビジネスイノベーション	179 [9.7%]	**167 [9.0%]**	-12	(-6.9%)	467 [8.5%]	**422 [7.5%]**	-45	(-9.6%)
イメージング	162 [15.5%]	**223 [19.9%]**	61	(+37.0%)	141 [6.5%]	**347 [13.3%]**	206	(2.5倍)
全社/連結調整	-69	**-74**	-5	-	-224	**-236**	-12	-
合計	640 [11.1%]	**786 [12.0%]**	146	(+22.8%)	1,205 [7.7%]	**1,865 [10.0%]**	660	(+54.8%)

3Q｜9ヶ月 業績：ヘルスケア

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
メディカルシステム	881	**1,348**	467	(+52.8%)	412	(+46.4%)	2,422	**3,796**	1,374	(+56.7%)	1,245	(+51.4%)
バイオCDMO	255	**374**	119	(+47.4%)	88	(+35.4%)	726	**1,086**	360	(+49.7%)	303	(+41.9%)
ライフサイエンス	264	**289**	25	(+9.2%)	15	(+5.6%)	733	**885**	152	(+20.7%)	134	(+18.2%)
合計	1,400	**2,011**	611	(+43.6%)	515	(+36.7%)	3,881	**5,767**	1,886	(+48.6%)	1,682	(+43.3%)

*セグメント間取引消去後

（単位：億円）

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	176 [12.6%]	**283** [14.1%]	107	(+60.9%)	77	(+43.5%)	362 [9.3%]	**753** [13.1%]	391	(2.1倍)	338	(+93.3%)

3Q｜9ヶ月 業績：マテリアルズ

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
電子材料	305	**377**	72	(+23.6%)	47	(+15.1%)	886	**1,070**	184	(+20.8%)	131	(+14.8%)
ディスプレイ材料	271	**237**	-34	(-12.4%)	-35	(-12.7%)	713	**741**	28	(+4.0%)	25	(+3.6%)
他高機能材料	219	**245**	26	(+11.7%)	14	(+6.2%)	643	**727**	84	(+13.2%)	61	(+9.4%)
グラフィックコミュニケーション	666	**726**	60	(+9.0%)	26	(+3.7%)	1,931	**2,111**	180	(+9.3%)	94	(+4.8%)
合計	1,461	**1,585**	124	(+8.5%)	52	(+3.4%)	4,173	**4,649**	476	(+11.4%)	311	(+7.5%)

*セグメント間取引消去後

（単位：億円）

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
マテリアルズ	192 [13.2%]	**187** [11.8%]	-5	(-2.9%)	-25	(-13.4%)	459 [11.0%]	**579** [12.5%]	120	(+25.9%)	79	(+17.0%)

3Q｜9ヶ月 業績：ビジネスイノベーション

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
オフィスソリューション	1,257	**1,238**	-19	(-1.4%)	-57	(-4.3%)	3,737	**3,789**	52	(+1.4%)	-60	(-1.6%)
ビジネスソリューション	595	**605**	10	(+1.6%)	-4	(-0.8%)	1,757	**1,802**	45	(+2.6%)	3	(+0.1%)
合計	1,852	**1,843**	-9	(-0.4%)	-61	(-3.2%)	5,494	**5,591**	97	(+1.8%)	-57	(-1.0%)

*セグメント間取引消去後

（単位：億円）

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	179 [9.7%]	**167** [9.0%]	-12	(-6.9%)	-12	(-6.8%)	467 [8.5%]	**422** [7.5%]	-45	(-9.6%)	-69	(-14.7%)

3Q｜9ヶ月 業績：イメージング

FUJIFILM

（単位：億円）

売上高	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
コンシューマーイメージング	760	**790**	30	(+3.7%)	-19	(-2.6%)	1,443	**1,730**	287	(+19.8%)	194	(+13.4%)
プロフェッショナルイメージング	287	**329**	42	(+14.9%)	24	(+8.5%)	743	**872**	129	(+17.4%)	84	(+11.3%)
合計	1,047	**1,119**	72	(+6.8%)	5	(+0.5%)	2,186	**2,602**	416	(+19.0%)	278	(+12.7%)

*セグメント間取引消去後

（単位：億円）

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く		2021年3月期	2022年3月期	対前年度		為替影響除く	
イメージング	162 [15.5%]	**223** [19.9%]	61	(+37.0%)	38	(+23.3%)	141 [6.5%]	**347** [13.3%]	206	(2.5倍)	149	(2.1倍)

国内・海外別連結売上高

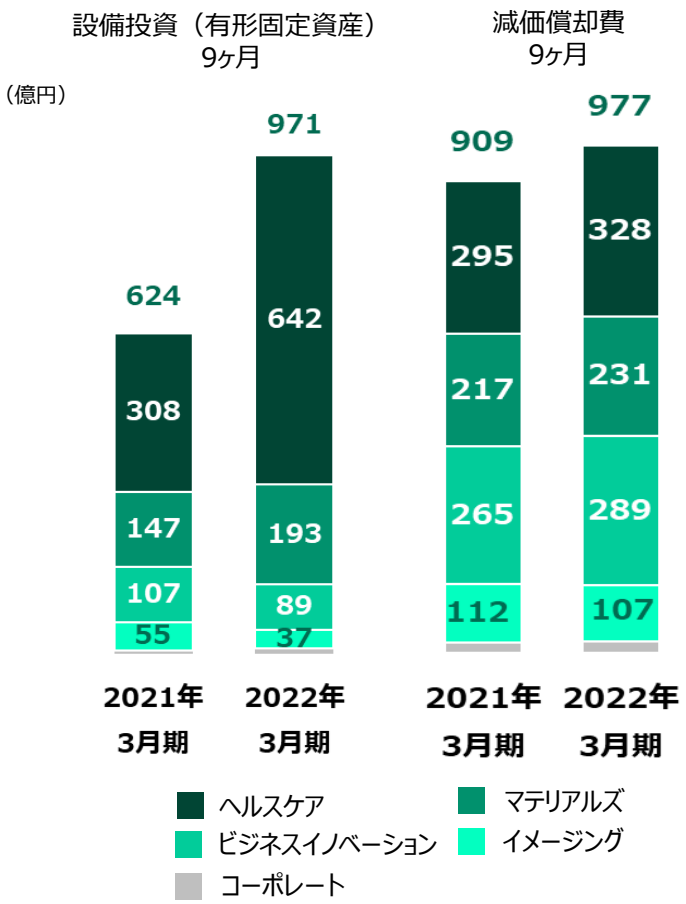
FUJIFILM

（単位：億円）

	2021年３月期 9ヶ月 構成比(%)		2022年３月期 9ヶ月 構成比(%)		対前年度	
日本	41.7%	6,567	**38.2%**	**7,104**	537	(+8.2%)
米州	18.9%	2,980	**21.2%**	**3,949**	969	(+32.5%)
欧州	12.3%	1,923	**13.3%**	**2,482**	559	(+29.1%)
内、中国	14.0%	2,200	**13.9%**	**2,584**	384	(+17.5%)
アジア他	27.1%	4,264	**27.3%**	**5,074**	810	(+19.0%)
海外	58.3%	9,167	**61.8%**	**11,505**	2,338	(+25.5%)
合計	100.0%	15,734	**100.0%**	**18,609**	2,875	(+18.3%)

設備投資｜減価償却費

FUJIFILM

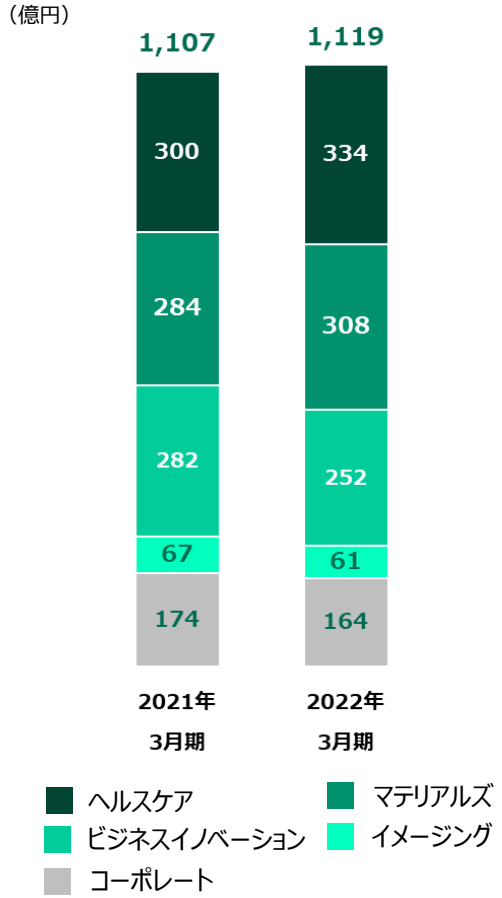


（単位：億円）

年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2021年3月期	**2022年3月期**	2021年3月期	**2022年3月期**	2021年3月期	**2022年3月期(予想)**
ヘルスケア	135	**237**	308	**642**		
マテリアルズ	47	**74**	147	**193**		
ビジネスイノベーション	48	**31**	107	**89**		
イメージング	13	**10**	55	**37**		
コーポレート	2	**4**	7	**10**		
設備投資（有形固定資産）	245	**356**	624	**971**	1,009	**1,700**
ヘルスケア	25	**19**	69	**74**		
マテリアルズ	10	**15**	31	**43**		
ビジネスイノベーション	39	**70**	116	**195**		
イメージング	15	**8**	45	**37**		
コーポレート	4	**1**	11	**18**		
設備投資（ソフト、レンタル資産他）	93	**113**	272	**367**	444	**600**
ヘルスケア	99	**110**	295	**328**		
マテリアルズ	72	**79**	217	**231**		
ビジネスイノベーション	91	**96**	265	**289**		
イメージング	39	**35**	112	**107**		
コーポレート	7	**7**	20	**22**		
減価償却費	308	**327**	909	**977**	1,234	**1,350**

研究開発費｜販売費及び一般管理費

FUJIFILM



（単位：億円）

年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2021年 3月期	**2022年 3月期**	2021年 3月期	**2022年 3月期**	2021年 3月期	**2022年 3月期 (予想)**
ヘルスケア	99	**107**	300	**334**		
マテリアルズ	99	**103**	284	**308**		
ビジネスイノベーション	93	**79**	282	**252**		
イメージング	21	**20**	67	**61**		
コーポレート	51	**52**	174	**164**		
研究開発費	363	**361**	1,107	**1,119**	1,522	**1,600**
<売上高比>	6.3%	**5.5%**	7.0%	**6.0%**	6.9%	**6.4%**
販売費及び一般管理費	1,534	**1,634**	4,197	**4,861**	5,520	
<売上高比>	26.6%	**24.9%**	26.7%	**26.2%**	25.3%	

為替｜原材料価格｜人員

FUJIFILM

為替

（単位：円）

	2021年3月期						2022年3月期				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	**3Q**	**9ヶ月**	**通期(予想)**
米ドル	108	106	105	106	106	106	109	111	**114**	**111**	**112**
ユーロ	119	124	125	123	128	124	132	130	**130**	**131**	**130**

原材料価格 （平均）

（単位：千円/kg）

	2021年3月期						2022年3月期				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	**3Q**	**9ヶ月**	**通期(予想)**
銀	55	78	83	70	91	74	93	86	**86**	**89**	**89**

人員

（単位：人）

	2020.9末	2020.12末	2021.3末	2021.6末	2021.9末	**2021.12末**
連結	72,176	71,474	73,275	75,879	75,007	**74,842**

パイプライン (2022年2月9日時点)

FUJIFILM

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗新型コロナウイルス（COVID-19）薬	経口	日本	承認申請中
			米国	PhⅡ
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）治療薬		日本	PhⅢ
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	PhⅡ
			日本	PhⅡ
			欧州	PhⅡ
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		日本	PhⅡ
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	PhⅠ
			米国	PhⅡ
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	PhⅡ
FF-21101	バイオ 進行・再発固形がん治療薬（Armed抗体）	注射	米国	PhI/Ⅱa
			日本	PhⅠ
F-1311	前立腺がん診断薬（放射性医薬品）	注射	日本	PhⅡ
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	PhⅠ
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬（放射性医薬品）	注射	日本	承認取得
FF-10832	進行性固形がん治療薬（ゲムシタビンリポソーム）	注射	米国	PhⅠ
FF-10850	進行性固形がん治療薬（トポテカンリポソーム）	注射	米国	PhⅠ
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬（放射性医薬品）	注射	日本	承認取得

参考情報

FUJIFILM

富士フイルムホールディングス　株主・投資家情報
https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html

富士フイルムホールディングス　統合報告書2021
https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html

IR資料室
https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html

富士フイルムってどんな会社？
https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」
https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop

新型コロナウイルス感染症への取り組み
https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フイルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フイルム ホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部
https://holdings.fujifilm.com/ja